

石川工業高等専門学校
学校生活感染防止マニュアル

学生版

令和2年7月31日

石川工業高等専門学校

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は 2019 年 12 月以降、中国武漢で確認されてから全世界に蔓延しました。日本国内においても 1 月 16 日に初めて感染者が確認され、その後、首都圏、関西圏、中京圏等、人口過密地域で急激に増加しました。石川県では、2 月 21 日に 1 例目を確認し、4 月に入った途端急激に増加しました。ピークは越えたものの、7 月 27 日現在、累計感染者数は 313 例となっています。石川県内は現在、感染者はいるものの、小康状態を保っています。しかし、都市圏を中心に再び増加が見られ、いつ、どこで感染者が発生し、急増するかは全く予想ができない状況です。

本校は 4 月 7 日に入学式で 1 年生が登校した後から登校禁止となりました。対面授業は 8 月 31 日からとなりますので、1 年生で約 5 ヶ月ぶり、2 年生以上で約半年ぶりの登校となります。久しぶりの登校となりますが、これまでと学校生活とは変わります。

この「学校生活感染防止マニュアル」は対面授業を開始するにあたり、安心して学校生活が送れるよう、また新しい学校生活にスムーズに移行してもらうことを目的に作成しました。第 1 章は「対応方針と体制」として学校の基本方針が掲載されています。第 2 章の「新しい生活様式での学校生活ハンドブック」は、学生の具体的な学校での生活方法について書かれています。第 3 章の「寮における新しい生活様式ハンドブック」では寮における生活方法について書かれています。これまでの学校生活とは異なり、特に気をつけて生活してほしいことが書かれていますので、このマニュアルをよく読んで、対面授業開始時にすみやかに対応できるようにしておきましょう。

新型コロナウイルスの特徴をよく理解し、「感染しない」「感染させない」の意識を持って、一人一人が適切な対応や行動をとって安全で活発な学校生活を送ることができるようにしていきましょう。

目 次

はじめに

第1章 対応方針と体制

1. 基本方針

- (1) 授業実施を実施する優先順位項目
- (2) 安全性判断の指標

2. 体制

- (1) 総合企画会議
- (2) 危機管理室

3. 情報の収集・提供

4. 衛生・健康管理

- (1) 感染源を絶つこと
- (2) 感染経路を絶つこと
- (3) 抵抗力を高めること
- (4) 情報収集に努めること

5. 感染拡大防止

- (1) 学校活動 日常における3条件
- (2) 海外渡航
- (3) 学生寮

6. 出席停止等

- (1) 学生の出席停止、教職員の就業禁止
- (2) 出席停止等の解除日
- (3) 学級閉鎖の検討
- (4) 臨時休校の検討

7. 関連情報

第2章 新しい生活様式での学校生活ハンドブック

1. 感染予防

- (1) 基本は手洗い、顔を触らない
- (2) 咳エチケット
- (3) 換気

2. 体調管理

- (1) 毎日の検温入力

3. 学校生活

- (1) 1日の流れ
- (2) 登校時の持ち物
- (3) 通学時の注意
- (4) 教室での過ごし方

- (5) トイレ使用時の注意
- (6) 昼食時の注意
- (7) 教室の掃除・消毒(衛生係の仕事)
- (8) 移動教室の利用について
- (9) 体育や部活動時の注意

4. 各施設の利用方法について

- (1) 体育施設の利用について
- (2) 図書館の利用方法
- (3) 養高館(食堂購買)の利用方法

5. その他

- (1) 休日の過ごし方
- (2) 病気に負けないからだづくり
- (3) いじめや偏見・差別をしないところ

第3章 新しい生活様式での寮生活ハンドブック

1. 寮生活 短縮授業期間

2. 持ち物

3. 居室内の過ごし方

4. 居室外の過ごし方

5. 食 事

6. トイレ・洗面・洗濯

7. 入 浴

8. 点 呼

9. 外泊願と欠食届

第1章 対応方針と体制

1. 基本方針

(1) 新型コロナウイルス感染拡大が懸念される環境下、以下の優先順位で授業を実施する。

① 安全の確保

学生・教職員の安全を第一に考え、感染予防および感染拡大防止対策に万全を期す。

② 学習機会の確保

通常授業を基本とし、学生の安全が確保できない場合は遠隔授業等を実施、学習機会の確保を行う。

③ 学習内容の充実

いかなる授業形態であっても、より充実した授業の実施に向けて対応する。

(2) 安全性の判断について、以下の項目を指標とする。

① 安全管理の確保

消毒液、石鹸、マスク、フェイスシールド等環境衛生管理物品の在庫状況

② 検温の結果

学生・教職員の毎日の検温結果の状況

③ 石川県内の感染状況

1週間の新規感染者数、倍加時間、経路不明感染者数を観察項目とする

④ 他の教育機関の状況

「県教育委員会の状況」「県内外高等教育機関の状況」「本校の特殊性(寮生)」を鑑みる

2. 体制

(1) 総合企画会議

- ・臨時開催も含め、変化する状況や事象に応じて迅速に対応する
- ・必要に応じて構成員以外の出席を求める
- ・各部署からの報告や提案に基づき、基本的な対応・対策を決定する

(2) 危機管理室

- ・感染者が発生した場合など、学校の閉鎖も考慮する必要があると判断される場合に校長が召集する。
(石川工業高等専門学校における危機管理規程(以下「危機管理規程」という。)第2条第2項)
- ・構成員は危機管理規程第4条による。

3. 情報の収集・提供

- ・高専機構、および国や地方自治体等が発表する情報を早期に把握し、学内で共有するとともに対策等に反映させる。
- ・学校の対応状況について、ホームページで情報を提供する。
- ・感染予防に関する情報、授業や行事等に関する情報は、学生に対しては Gmail(一斉メール)、Teams、さくら連絡網、教職員に対してはメールまたは Teams で速やかに提供する。
- ・感染疑いがある者に関する情報は、学生は教務係・保健室、教職員は人事労務係・保健室に集約し、関係教職員に連絡をする。その際、当該者のプライバシーに最大限配慮する。

4. 衛生・健康管理

感染症対策は、「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」が有効である。

(1) 感染源を絶つこと

- ① 起床時に必ず検温を行う。学生は Web Class に検温結果を入力する。
 - ・37.5℃以上の発熱がある場合は登校しないこと。
 - ・37.4℃以下でも、強いだるさ(倦怠感)や呼吸器症状(ひどい咳、息苦しさ、呼吸困難)がある場合、下痢や吐き気、頭痛、嗅覚・味覚の異常など、体調が悪い場合は登校しないこと。
- ② 寮生は、点呼時に検温し、前記①の症状がある場合は当直者・寮務係に申し出る。
- ③ また、次のいずれかに該当する場合は、帰国者・接触者相談センター※に相談する。
 - ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ・重症化しやすい方(高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
 - ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合は帰国者・接触者相談センターに必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない場合も同様です。)

※帰国者・接触者相談センターは最寄りの保健所等です。(末尾に関連 URL を記載)
- ④ なお、欠席するときや帰国者・接触者相談センターに相談したときは必ず学校に連絡する。

(2) 感染経路を絶つこと

- ① 外出先からの帰宅時や、飲食前など、こまめに石けんを使って手洗い(30 秒かけて)を行い、アルコール消毒液で消毒を心がける。
- ② マスクを着用し、咳エチケット※を実施する。

※咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる。
- ③ 人混みの多い場所、換気が悪く人が密に集まって過ごすような空間は避けるようにし、状況によっては外出を中止する。

(3) 抵抗力を高めること

十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけ、普段からの健康管理に気を配ること。

(4) 情報収集に努めること

ニュース・Web サイト等で最新情報を逐次確認すること。(末尾に関連 URL を掲載)

5. 感染拡大防止

- (1) 学校活動では、日常における 3 つの条件(①換気の悪い密閉空間、②多くの人が密集、③近距離での会話や発話)が同時に重なることを徹底的に回避する。
- (2) 海外渡航は、外務省海外安全情報(危険情報及び感染症危険情報)の危険レベルにより制限する。
 - ・危険レベル 3 以上の国・地域=学生、教職員ともに渡航不可
 - ・危険レベル 2 の国・地域=学生、教職員ともに原則渡航不可。教職員は私的渡航も自粛を強く要請
 - ・危険レベル 1 の国・地域=学生・教職員ともに私的渡航の自粛を強く要請

また、日本からの渡航者や日本人に対する入国・入域後の行動制限を設定している国・地域があり、さらに日本政府の水際対策強化により感染拡大国・地域からの帰国後の行動が制限されるなど各国の対応策が流動的なので、適切な対応を要請する。
- (3) 学校や寮に滞在中、上記 4-(1)-①に掲げる発熱や体調不良の症状があるときは直ちに帰宅してもらおう。

6. 出席停止等

- (1) 次の場合、学生は出席停止、教職員は就業禁止とする。

- ① 上記 4-(1)-① に掲げる発熱や体調不良の症状があるとき
 - ② 本人又は家族(同居)が当該感染症と診断又は濃厚接触者に特定されたとき
- (2) 出席停止等の解除日は、学校が指定する。次に掲げる日以降に保健室に連絡すること。
- ① 発熱・体調不良者:熱が下がった日や症状が治まった日
 - ② 本人が濃厚接触者:感染者と最後に濃厚接触した日から起算して 2 週間経過した日
 - ③ 家族(同居)が濃厚接触者:家族が濃厚接触者に特定された日から起算して 2 週間経過した日
 - ④ 当該感染症と診断された者:指定医療機関を退院若しくは宿泊療養又は自宅療養を解除された日
- (3) 一定期間にクラスの出席停止学生が増加した場合は、学級閉鎖を検討する
- (4) 臨時休校
- 学生、教職員が当該感染症と診断されたときは、石川県の衛生主管部局と相談し、臨時休校を検討する。臨時休校した場合は原則臨時閉寮し、寮生は帰宅する。外国人留学生などの帰宅困難者は個別対応する。

7. 関連情報

○新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する情報

【文部科学省】https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.htm

【内閣官房】<http://corona.go.jp>

【厚生労働省】https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

【石川県】<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/corona.html>

○新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

○外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/> (PC・スマートフォン版)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/m/mbtop.html> (モバイル版)

新しい生活様式での 学校生活ハンドブック

石川工業高等専門学校

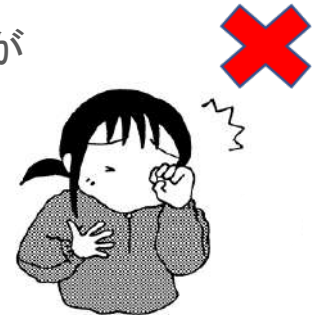
1. 感染予防

基本は手洗い！顔を触らない！

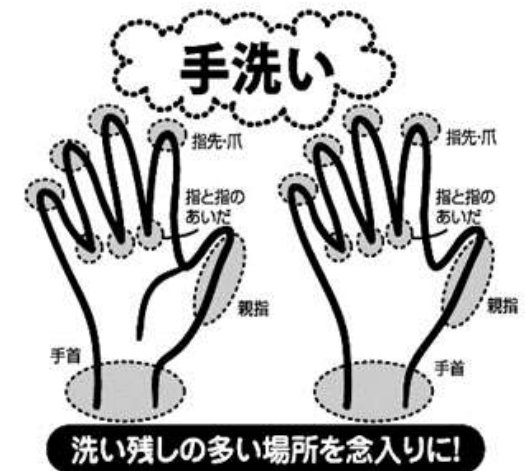
- 手で目や鼻、口などを触ることにより、粘膜からウイルスが侵入することが多い。
- 手を洗った後は、顔（目や鼻、口）や髪の毛を触らないことが大事。
- 仮設手洗い場やトイレを利用し、石鹸で手を洗うこと。

（6号館3・4階リフレッシュコーナー、情報処理センター渡り廊下、機械棟玄関前、実習工場前、電気環境棟玄関前、建築棟玄関前）

- 登校後、休み時間、食事前、トイレ後、移動教室利用前後など、こまめに手を洗うこと。



- 手洗い後はきれいなハンカチやタオルで拭くこと。
- ハンカチやタオルの貸し借りはしない。
- 爪は短く切っておく。（爪の間に菌が溜まっています。）
- 手洗いの後で消毒することでさらに、ウイルスや菌を減らすことができます。



この部位は、こんなふうに手を動かそう！

石けんでの手洗いも、アルコールでの手指消毒も、手の動かし方は同じです。

手の平



両方の手の平を
こすり合わせる

手の甲



手の甲と手の平を
こすり合わせる

指と指の間



両手の指を組み合わせて
こする

親指



もう片方の手で包んで
ねじる

手首



もう片方の手でつかんで
ねじる

指先・ツメ



もう片方の手の平に
こすりつける

咳エチケット

- ・マスクを着用して登校する。

守ろう！「せきエチケット」



- ・食事などでマスクをはずした時に保管しておく、ビニール袋やマスクケースを持参する。

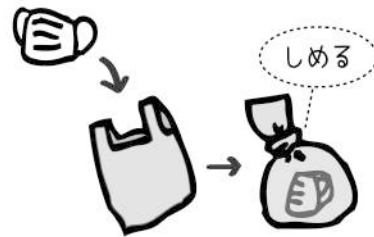
- マスクを捨てるときは、そのままごみ箱に捨てるのではなく、持参したビニール袋に入れて口を縛って捨てる。
- 鼻水や唾液のついたティッシュペーパーなども、持参したビニール袋に入れて口を縛って捨てる。
(エアロゾル感染を防ぐため。)

つけたマスク⇒しっかりすてる マスクのあとしまつ

①ひもをもってはずす



②ビニールぶくろやふたつきのごみばこへ



③せっけんでしっかり^て手あらい!



マスク着脱時のポイントは？

マスクには、咳やくしゃみで飛沫が周囲に飛び散るのを防いだり、自分の吐く息によってのどを保湿したりするなどの効果があります。着脱時には、次のポイントを押さえることが大切です。



- ・鼻からあごまでしっかりと覆うように装着する。
- ・鼻の部分のワイヤーを鼻の形に合わせて押さえ、隙間をなくす。
- ・外す時はひもを持ち、マスクの表面には触れないようにする。
- ・マスクをつける前と外した後は、よく手を洗う。

換 気

- 授業中（４５分に１回）、休み時間に換気をする。
- 換気扇（ロスナイ）を常に付けておく。
- エアコンを使用していない場合は、ドアを開けておく。



2. 体調管理

毎日の検温入力

- 毎朝起きた時に体温を測り、webclassに入力する。
(平日は8時30分まで。休日はその日のうちに。)
- 他に症状がある場合は、自由記載欄に記入する。
- 37.5℃以上の熱がある場合は、学校に連絡し、欠席する。
- 37.4℃以下でも、強いだるさ(倦怠感)や呼吸器症状(ひどい咳、息苦しさ、呼吸困難)がある場合、下痢や吐き気、頭痛、嗅覚・味覚の異常など、体調が悪い場合は、学校に連絡し、欠席する。
- 夜中に体調が悪くなったが、翌朝体調がよくなった場合も欠席し、学校に連絡すること。
- 連絡先：担任又は、教務係(076-288-8031)

3. 学校生活

1 日の流れ



学生全員

衛生係

起床

検温・web class 入力

登校後すぐ

登校後手洗い・消毒

ドア・窓を開けて換気
ドアノブ・スイッチ・窓鍵・
1列目の机の消毒

1・2限終了後
休み時間

換気・トイレ後の手洗い

ドア・窓を開けて換気

昼休み

換気・昼食前手洗い・消毒

ドア・窓を開けて換気
ドアノブ・スイッチ・窓鍵・
1列目の机の消毒

5・6限終了後
休み時間

換気・トレイ後の手洗い

ドア・窓を開けて換気

掃除

掃除

ドア・窓開けて換気
掃除後にドア・スイッチ・
窓鍵・1列目の机の消毒

課外活動

活動前後の手洗い

帰宅

寄り道せずに帰宅。帰宅後手洗い・消毒

登校時の持ち物

- 清潔なハンカチやタオル（手洗い後に拭くため）貸し借りはしないこと。
- マスク（予備）
- マスクを入れておくビニール袋やマスクケース
- マスクを捨てる場合のごみ袋



- 飲み物（感染予防のため冷水器を休止しているため、1日分を持参してください。）

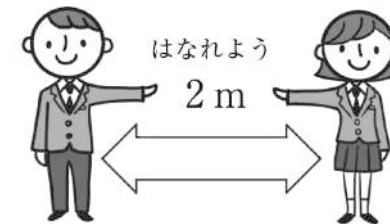


通学時の注意

- 寄り道しない。
- マスクを着用する。
- 屋外で、他の人と距離が取れる場合で、熱中症が心配な時は、マスクを外してもよい。
- 対面でおしゃべりをしない。
- 移動後はすぐに手を洗う。

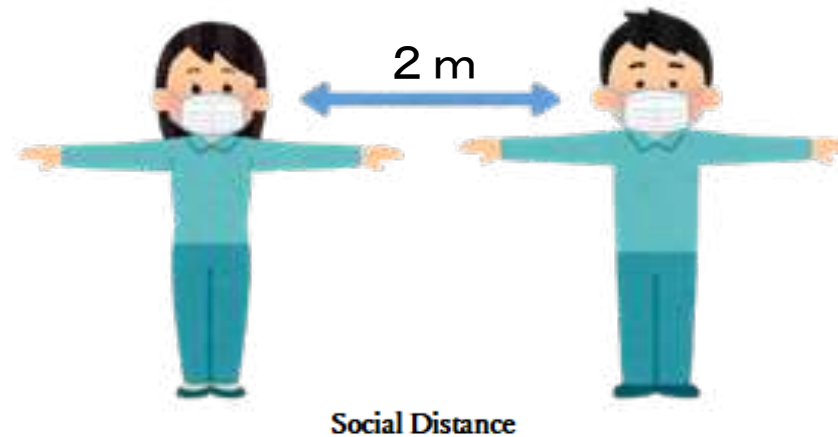


感染症予防の
ソーシャルディスタンス
(フィジカルディスタンス)



教室での過ごし方

- 「3密」（密閉・密集・密接）を避ける。
- トイレ後、移動教室の前後などは手洗いし、教室の手指消毒液で消毒する。
- 会話をする際は、可能な限り真正面は避ける。
- マスクを着用する。



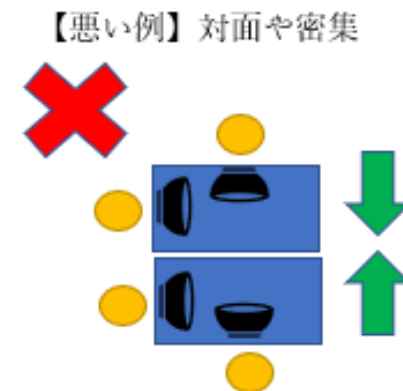
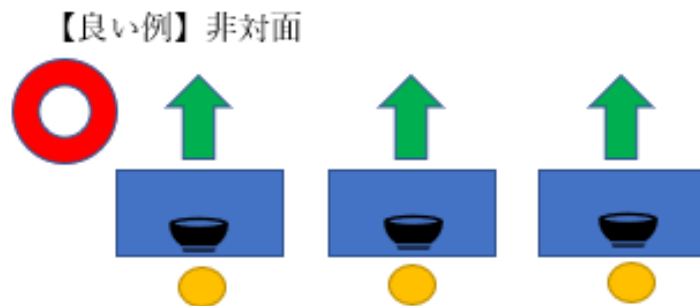
トイレ使用時の注意

- 用を足した後は、フタをしてから水を流す。
- トイレ使用後は石鹼を使って手洗いする。
- もし、下痢や嘔吐で汚してしまった場合は、保健室に知らせに行く。



昼食時の注意

- 昼食前に必ず手洗いをする。
- 昼食時は机をくっつけたりせずに向い合せにならないように食べる。
- おしゃべりは控える。



- マスクをはずして、近い距離で15分以上話すと濃厚接触となります。

教室の掃除・消毒

- ・ 掃除の際は、窓とドアを開けて換気をする。
- ・ 衛生係が消毒セットを利用し、ドアノブやスイッチ、窓のカギ、てすり、1列目の机など多数の人が触るような箇所を消毒する。



直接スイッチなどに
吹きかけず、雑巾に
吹きかけて必要箇所を
拭くこと。

- ・ 消毒後の雑巾は洗って干しておくこと。
- ・ 掃除の後、手洗いをする。
- ・ マイペットが無くなった場合は、保健室へ取りに行く。

移動教室の利用について

- マルチメディア演習室やグループ演習室など、スリッパで入る教室のスリッパは使用できません。
- 自分の内ばきやスリッパを持参するか、くつしたを履いて入室するようにしてください。裸足はダメです。
- パソコンを使用する際、気になる人は、ラップでキーボードとマウスを覆って使用し、使用後はラップを外し、ごみ箱に捨ててください。（ラップは自分のものを持参）

体育や部活動時の注意

- 更衣室は分散し、密集しないように順番に利用すること。
- 更衣室の棚に脱いだもの等を直接置かないこと。かばんや袋の中に入れて、かばんを棚に置くこと。
- 更衣室は適宜換気すること。
- 部室で集まらないこと。
- 冷水器を休止しているため、水分を持参し適宜水分補給すること。
- 運動時はマスクをはずし、距離を取るようにする。



4. 各施設の利用方法について

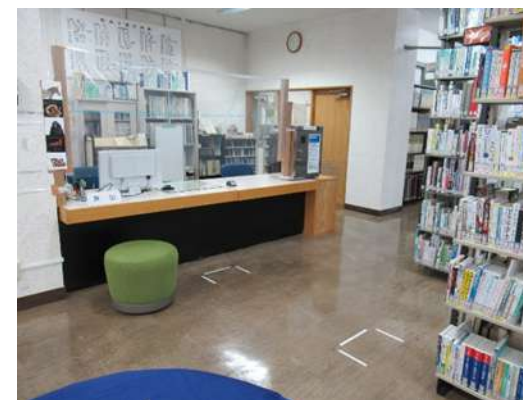
体育施設の利用について

- 体育館（トレーニング室を含む）や武道館の利用は、授業またはクラブ活動に限ります。
- 休み時間や放課後の利用は原則できません。



図書館の利用方法

- 入館、退館の際には手指の消毒をしてください。
- カウンター前に並ぶ時は、前の人と距離を開けましょう。



- 閲覧室では間隔を開けて座ってください。
- 感染症予防の観点から、閲覧室の長時間の滞在はご遠慮ください。



- メルチメディアルームは使用できません。
- 館外貸出可能なDVD、ブルーレイディスクもあります。
- 館内のパソコンは利用できません。
- 蔵書検索はスマホからでも可能です。

養高館（食堂購買）の利用方法

- 入館時には手洗い場で手を洗いましょう。
- 店内に設置されている消毒液もこまめに利用してください。



- カウンター前に並ぶ時は前の人と距離を開けましょう。
- 3密を避けるため、利用後は速やかに移動しましょう。

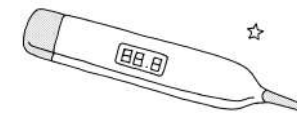


- 食堂は入口と出口が別になっています。密を避けるためにも入口から出ることなく、指定の出口から退店してください。
- 食事が終わったらトレイ返却後速やかに退店しましょう。
- 購買内での飲食は禁止です。
- 小人数で、大声は控えてご利用ください。

5. その他

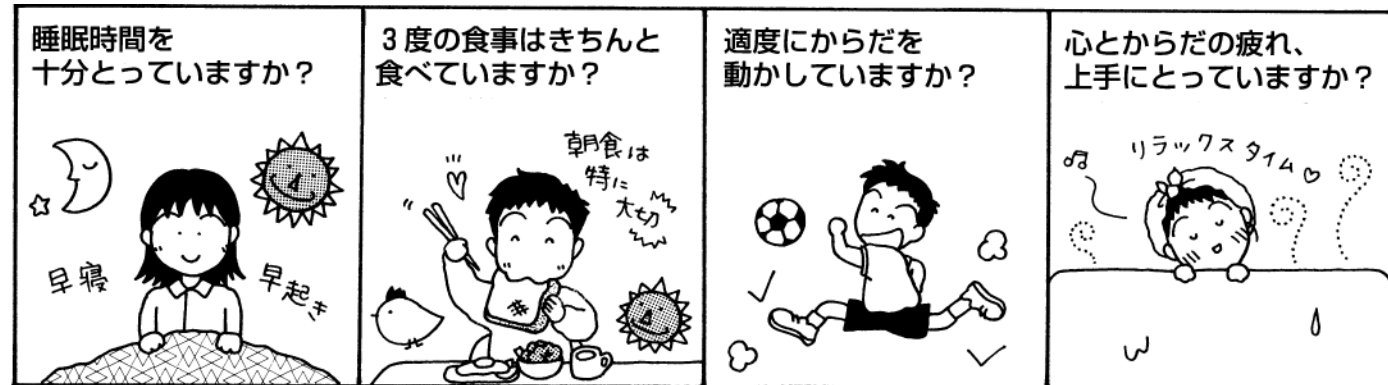
休日の過ごし方

- 休日にも必ず検温し、webclassに入力すること。
- 情報収集に努め、感染拡大している地域への不要不急の外出は避けましょう。
- 大規模イベントへの参加は、感染状況を注視し、本当に必要なのか今一度考えましょう。
- 基本的に本校は、アルバイト禁止です。
- 家庭の事情などで、アルバイトをする必要がある人は接客しない仕事を選んでください。



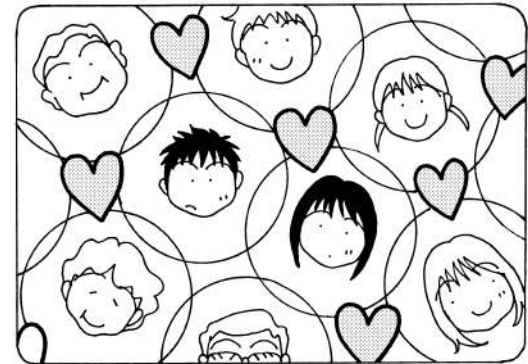
病気に負けないからだづくり

- 適度にからだを動かす。
- 食事（栄養）をきちんとバランスよくとる。
- 睡眠時間をたっぷりとる。
- 疲れやストレスをためない。
- 自分に合ったリラックス方法を見つける。
- 朝起きたら朝陽をあびる。生活リズムを整える。
- 不安や悩みを相談する。



いじめや偏見・差別をしないところ

- 新型コロナウイルス感染症に感染した人が、いじめや偏見・差別を受けるようなことはあってはならない。
- 衛生管理のやり方は人それぞれ。
- 不安や心配も人それぞれ。
- 不確かなことや個人情報、SNS等に載せない。
- 感染者が多く発生した地域から来る学生や、保護者が医療関係者などの学生が、いじめや偏見・差別を受けるようなことがあってはならない。



新しい生活様式での 寮生活ハンドブック

石川工業高等専門学校 Ver.1 (2020.07.27)

1. 寮生活 短縮授業期間

規則正しい生活で健康管理！

時 間	項 目	感染予防対策 等	
7:00	起 床		
7:30～ 8:20	朝 食	混雑回避・手洗い・うがい	
7:45～ 8:15	朝点呼	管理棟で実施・Web Class検温報告	
～ 9:10	登 校	マスク着用	
9:30～12:20	授 業		
12:20～13:20	昼 食	混雑回避・手洗い・うがい	
13:20～16:10	授 業		
16:10～		課外活動・自 習	入 浴 17:30～22:30 混雑回避 19:00～21:00 部活参加者優先
18:00～19:30	夕 食	混雑回避・手洗い・うがい	
20:00～	清 掃	寮内換気・共用部分消毒	
20:45～21:15	夜点呼	管理棟で実施	
21:15～		自 習	
23:00	消 灯	就 寝	

2. 持ち物

感染拡大防止は小さなことの積み重ね！

入寮する際には、以下のものを持参する。

- 空スプレーボトル（100～300ml程度）×1本。中に入れる消毒液は寮で用意する。
- ビニール袋×200枚程度（10ℓ程度）。各部屋のゴミやマスクを密閉したり、食事中にマスクの保管をする。
- 体温計×1本。毎日の検温時に使用する。電子式体温計の場合は予備の電池があると良い。
- マスク必要数。居室内を除き、寮内や登校時にマスクの着用が必須。



3. 居室内の すごし方

感染予防行動と日々の体調把握が大切！

- ・ 食事の前後、トイレ・洗濯・清掃等で他者との共用部分に触れた後は、手洗いして居室へ戻る。居室では、各自で手指の消毒をする。
- ・ 決められた時間に居室の消毒・換気をする。
- ・ 特別な理由がない限り、他の寮生の居室へ行ったり自室に招かない。
- ・ 居室で出たゴミは、各自で持参したビニール袋に入れ、縛ってから大型ゴミ箱へ捨てる。
- ・ 体調が悪いときは、寮務係（平日17時まで）か当直室（平日17時以降と休日）へ**電話連絡**する。

第一当直室 080-1950-1854

第二当直室 080-1963-7911



手を洗おう



換気しよう

4. 居室外の すごし方

(補食室・パソコン
室・その他共用部分)

共用部分に触れる前後は手洗い・消毒！

居室外では他の寮生と共有する部分の接触に注意する。
基本は共有部分に触れる前後で手洗いを徹底。触れたら
可能な限り消毒をする。

接触前後の手洗い（または消毒）が必要な共有部分

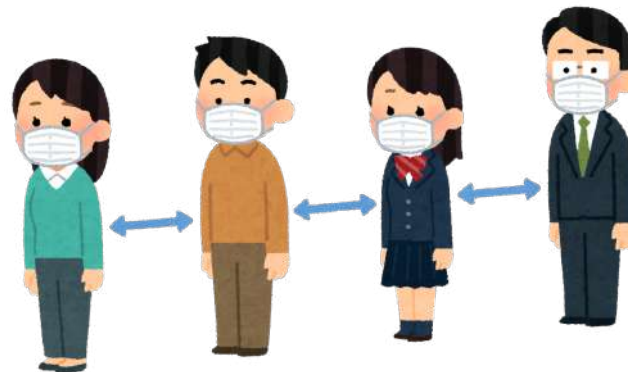
- ・ 補食室：
入口のドアノブ・電子レンジの取手やスイッチ・コンロのスイッチ・冷蔵庫の取手・部屋の電灯スイッチ 等
- ・ パソコン室：
キーボード・マウス・電源スイッチ・部屋の電灯スイッチ 等
キーボードとマウスは使う前後で必ず消毒！
- ・ その他の共有スペース：
自動販売機・トイレ・洗濯機・乾燥機 等



5. 食 事

整列と座席間はフィジカルディスタンスを！

- 食事で食堂に入る前には、必ず通路のシンクで手洗いをする。
- 並ぶときは、適度な距離を取る。
- 使用済のマスクを入れておけるように、各自でビニール袋を持参する。
- 食事は適度な距離を取るために、テーブルとイスに使用禁止と掲示された箇所がある。勝手に食事の場所を移動しない。
- 窓沿いのカウンターで食事することも可能。
- 食事中的会話は控える。スマホ使用厳禁。



6. トイレ・洗面・洗濯

水回りは使う前より美しくして次の人へ！

- ・ トイレ

便器の蓋を閉めてから水を流す。

汚した場合はトイレットペーパーや消毒液で綺麗にする。



- ・ 洗面

洗面や歯磨きの時に密集しないように注意する。

シンク周辺が濡れた場合はペーパータオルで拭く。



- ・ 洗濯・乾燥

干してある自分以外の洗濯物には触らない。

洗濯機・乾燥機に触った後は手洗いをする。



7. 入 浴

浴室・脱衣所は三密回避の協力を！

- ・ 混雑緩和のため指定された入浴時間を守る。
- ・ 自分が使用した場所はシャワーで洗い流す。
- ・ 浴室や脱衣所は常時換気をする。
- ・ 体調不良の場合は、大浴場の利用を控えてシャワーにする。
- ・ 浴室や脱衣所での会話は控える。



8. 点呼

規則的な生活や所在確認の最重要作業！

- 朝点呼
宙寮7時45分～7時55分、中寮と山寮7時55分～8時05分、海寮8時05分～8時15分とし、管理棟で当番が点呼を実施する。
- 夜点呼
宙寮20時45分～20時55分、中寮と山寮20時55分～21時05分、海寮21時05分～21時15分とし、管理棟で当番が点呼を実施する。
- 点呼遅れ
管理棟ホール内に設置する『点呼遅れ報告書』に必要事項を記入する。朝点呼遅れは当日の17時までに寮務係へ、夜点呼遅れは直ちに第一当直室（男子）または第二当直室（女子）へ提出する。
点呼遅れが度重なる場合は、生活習慣の見直しを兼ねて寮内の奉仕活動に参加する。

9. 外泊願と 欠食届

各種届出は期限厳守！

管理棟ホール内に設置する『外泊願』と『欠食届』に必要な事項を記入し、寮棟別に用意されたボックス内へ入れる。

- 外泊願

外泊する前日の17時までに届け出る。

帰省等の外泊は休日の前日夜から許可される。
最長で次の登校日の朝まで外泊が可能。

原則、平日の外泊は許可されないが、家庭の事情等の特別な理由のある場合は、予め寮務主事へ申し出る。

- 欠食届

外泊する三日前の17時までに、朝・昼・夕で食事を必要としないものを届け出る。

仕入れ食材の分量を決める上で重要な届出。

